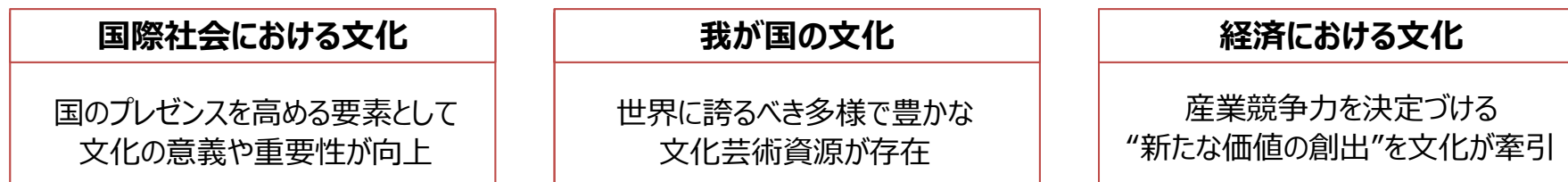


文化経済戦略策定の背景となる基本認識



文化政策が歴史的転換期を迎えるなか「新・文化庁」として前例なき改革を断行



国・地方自治体・企業・個人が文化への戦略的投資を拡大
文化を起点に産業等他分野と連携した創造的活動によって新たな価値を創出
その新たな価値が文化に再投資され持続的な発展に繋がる好循環を構築

文化経済戦略が目指す将来像

○ 花開く文化

未来に向けた「文化芸術の着実な継承」とともに、「次代を担う文化創造の担い手」育成、「次世代の文化財」の新たな創造

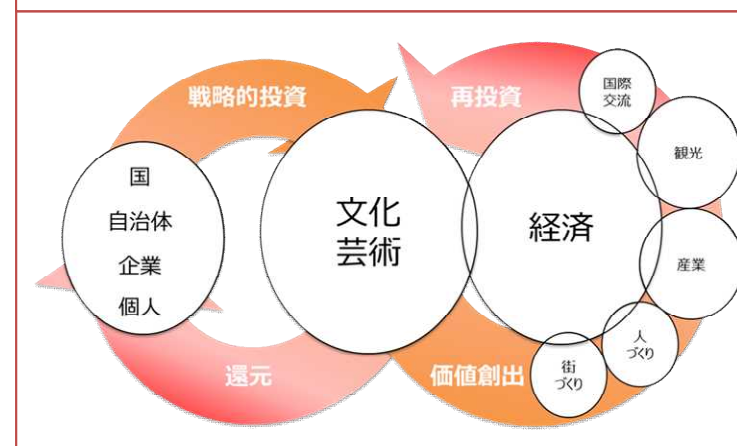
○ 創造する産業

文化芸術資源を拠り所とした新産業・イノベーションの創出
文化芸術を企業価値につなげる企業経営の推進

○ ときめく社会

「文化を知り、文化を愛し、文化を支える創造的な国民層」の形成
「国民文化力」の醸成を通じた「文化芸術立国」への飛躍

文化芸術を起点とした価値連鎖（バリューチェーン）



文化経済戦略策定の視点と推進

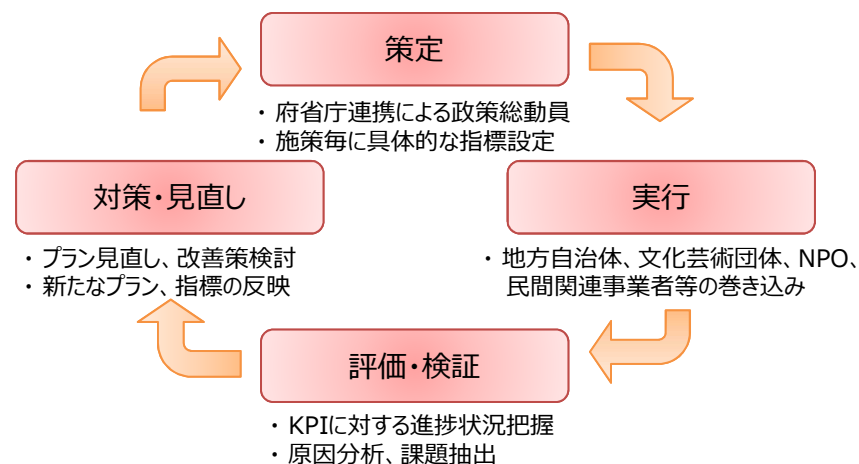
文化経済戦略策定にあたっての重要な6つの視点

- **未来を志向した文化財の着実な継承とさらなる発展**
国民共有の財産である文化財を守り、次世代へ継承していくことは、国として重要な戦略的投資であり、新たな創造的活動の大前提
- **文化への投資が持続的になされる仕組みづくり**
創出された価値が、新たな文化創造や人づくり、環境整備等に再投資されるメカニズムを構築。文化を活かした企業経営改革を推進
- **文化経済活動を通じた地域の活性化**
地域の文化や芸術祭、文化施設等文化芸術資源の面的・一体的整備を推進し、産業・観光等他分野と連携した地方創生を実現
- **双方向の国際展開を通じた日本のブランド価値の最大化**
戦略的な海外市場の開拓とともに、インバウンド拡充を推進
世界の文化、芸術家が日本に集う環境を創出
- **文化経済活動を通じた社会包摂・多文化共生社会の実現**
バリアフリーや多言語化など、あらゆる人々が文化経済活動に参加できる社会基盤を整備。文化芸術愛好者・支援者を拡充
- **2020年を契機とした次世代に誇れる文化レガシー創出**
2020年以降を見据え、国際化や共生社会の実現を意識した質の高い文化プロジェクトを全国において実施

文化経済戦略の推進

文化経済戦略の策定をスタートラインとして目標実現にむけてプランを実行

- **文化経済戦略アクションプラン策定**
平成30年3月までに関係府省庁の主要施策を取りまとめ
- **指標設定**
施策ごとに具体的に設定
- **PDCAサイクル実施**
各施策ごとに毎年度、進捗状況を把握、検証
継続的な見直し、プランの追加等を行いながら、
戦略を加速度的に推進



6つの重点戦略

No. 1,2

文化芸術資源（文化財）の保存

- **着実に維持・継承するための体制づくりや文化財保護制度の見直し**
 - ◆文化財保護制度の見直しによる地域全体での保存・活用の推進
 - ◆個人所有の特定の文化財に係る相続税の納税猶予の特例
- **文化財の計画的な修復、適切な状態での保存**
 - ◆自治体、所有者、民間事業者等が連携した保存修理対策の実行
 - ◆修理すべき時期に達している文化財の修理等の推進
- **未指定の文化財も対象とした取組の充実、文化財継承の担い手の確保、維持・継承支援等の推進**
 - ◆伝承者養成やわざの錬磨等に対する支援

文化芸術資源の活用

- **積極的な公開・活用を推進するための文化財保護制度の見直し**
 - ◆文化財の公開ルールの見直し（材質に応じた公開日数の上限を延長）
- **観光・まちづくり等への積極的な活用**
 - ◆史跡等大型文化財の公開・活用の機能充実のための整備
- **文化財の活用に関する助言・支援等を一元的に行う機能の整備**
 - ◆文化財の活用に関し、全国からの相談への一元的な対応、高精細レプリカやVR等を活用したビジネスモデル創出等を担うセンター機能を整備
- **多様な鑑賞者ニーズへの対応、環境整備等の推進**
 - ◆美術館・博物館を中核とした文化クラスター創出
 - ◆美術館・博物館の魅力向上のための学芸員研修の充実

6つの重点戦略

No. 3,4

文化創造活動の推進

- **文化芸術の積極的な鑑賞、主体的参加、創造に関わる環境の整備**
 - ◆ ナイトエンターテインメント等多様なニーズを踏まえた鑑賞機会等の創出
 - ◆ メディア芸術の創造活動等促進、人材育成、アーカイブ化推進、情報拠点等整備
 - ◆ バリアフリー対応の劇場・音楽堂等に対する固定資産税・都市計画税の負担軽減措置の特例
- **食、ファッション等生活文化を基軸とした新たな展開**
 - ◆ 日本の食文化やファッション等の魅力発信等による海外展開の推進
- **多様性に裏打ちされ、創造性に溢れた経済社会の実現**
 - ◆ 子供、高齢者、障害者等の文化芸術活動への主体的参画の拡充
 - ◆ 若手芸術家、クリエイター、文化伝承者、アートマネジメント人材等人材育成の推進
- **2020年以降の文化レガシー創出を目指した文化プログラムの推進**
 - ◆ 共生社会、国際化に繋がる文化レガシーを創出する「beyond2020プログラム」の全国展開等、質の高い文化プロジェクトの推進

国際プレゼンスの向上

- **関係府省庁連携による総合的・横断的な推進体制の整備**
 - ◆ 「日本ブランディング戦略タスクフォース」の創設による2020年をターゲットイヤーとしたインフルエンサー招致による発信や、調査研究等「戦略的日本ブランド構築事業」の実施
 - ◆ 「クールジャパン戦略官民協働イニシアティブ」に基づいた取組の推進、クールジャパン戦略の深化
- **文化芸術を通じた国家ブランド強化、インバウンド拡充**
 - ◆ 文化交流使の派遣やアーティスト・イン・レジデンス事業等双方向の国際文化交流の推進
 - ◆ 他分野・他産業、地方公共団体等と連携した放送コンテンツ制作、海外発信の取組支援
 - ◆ ジャパン・ハウスや専門家の派遣等を通じた日本の「正しい姿」や多様な魅力の発信
 - ◆ 「SAVOR JAPAN(農泊・食文化海外発信地域)」による食やそれを支える農山漁村の魅力発信
 - ◆ 日本の伝統文化や歴史的資源等を活用した訪日プロモーションの推進

6つの重点戦略

No. 5,6

新たな需要・付加価値の創出

- **文化芸術を核に産業等他分野と連携した文化経済クラスターの形成**
 - ◆ 産業、観光等他分野と連携した国際文化芸術発信拠点の形成
 - ◆ 伝統的工芸品の他分野・他産地との連携、後継者育成、国内外の需要開拓
 - ◆ DMOを中核とした観光客の来訪・滞在促進を図る観光地域づくりの推進
 - ◆ 文化財等を含む歴史的資源を活用した観光まちづくりの推進
 - ◆ 地域の文化や歴史等と連携した国立公園のナショナルパークとしてのブランド化
- **美術館機能強化・国際ネットワーク構築等を通じたアート市場の活性化**
 - ◆ 日本人アーティスト作品の国際的な評価を高めるための調査研究
- **他分野・科学技術等とのマッチングによる新産業・イノベーション創出**
 - ◆ 産官学連携基盤を活かした「クローン文化財」のビジネス展開の推進

文化経済戦略の推進基盤の強化

- **「新・文化庁」に向けての機能強化**
 - ◆ 省庁横断的な行政機能強化のための組織改革
 - ◆ 文化経済施策を推進するための「文化経済・国際課（仮称）」の新設
- **首長部局が文化財保護を担当できる仕組みの導入**
- **地方財政措置を講じることによる文化財の積極的な保存・活用の推進**
- **関係府省庁の連携による文化資源を活かした地方創生の取組の推進**
- **国立美術館・博物館における来館者サービスの充実など国民目線でのきめ細やかな文化政策の実行**